

報道関係者各位

2010年7月22日

INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 2010

-くわしくはヨコハマの街で-

クリエイティブシティ・ヨコハマ 秋のプロモーションキャンペーン実施

横浜市民による 1000 通の招待状を特設ウェブサイトに掲載

新たに発足した OPEN YOKOHAMA 実行委員会は、今秋『INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 2010 -くわしくはヨコハマの街で-』と題したプロモーションキャンペーンを9月10日（金）から11月3日（水・祝）まで実施し、期間中に区内・区外地区を中心とした横浜駅から元町・中華街駅周辺、日の出町駅・黄金町駅周辺で開催される100を超えるイベントと、横浜の持つ様々な魅力を一体的に情報発信する取組を実施します。

1、キャンペーンキーワードは<INVITATION> あなたへ 横浜からのご招待状です

今回の「INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 2010」プロモーションキャンペーンは、「開港以来、あらゆるものを受け入れ、新しいものを次々と生み出してきた開放的で自由な街“クリエイティブシティ・ヨコハマ”が、街全体で訪れる方を迎え入れ、街全体を魅力的に OPEN（公開・解放）すること」をめざします。

街全体で “受け入れる”“迎え入れる”の発展形である「INVITATION(招待)」をキーワードに、招く側と招かれる側の意識を醸成、促進します。

さらに「INVITATION」というキャンペーンキーワードは<横浜市民による 1000 通の招待状>という形で可視化します。人の数だけ魅力のある、横浜という街の奥深さをこの機会に体感していただく導線づくりとして、街へのそれぞれの思いがこもる、横浜のお薦めスポットを記載した手書きの招待状を横浜市民から 1000 通募り、すべての招待状を特設ウェブサイト上で紹介する予定です。

2、サブタイトル「くわしくはヨコハマの街で」の意図 twitter でライブリーに情報配信

アート、文化、観光、歴史、街並み、食…横浜のもつ豊富なコンテンツはひと言では語れません。横浜を知る最適な手段は「訪れる」こと。横浜の魅力は訪れた人に委ねる、そんな寛容の精神に富んだ気風をサブタイトルで反映しています。そして、県内はもちろん、首都圏からもアクセスがよい横浜だからこそ「現地体験」の提案が可能であることを示しています。

また期間中開催の各団体へ、リアルタイム性の強いソーシャル・ネットワーキング・サービスである twitter の使用を推進します。特設ウェブサイト各団体のツイート(つぶやき)を集約しタイムライン形式で掲載することで、各イベントや施設の最新ニュースや現場の空気感をライブリーに伝えます。既存メディアでの告知に加えて、フッ

トワークの軽い新しいメディアも積極的に活用し、現場の声を通じて各イベントや場所の魅力、横浜を全体で楽しむ提案をしていきます。

キャンペーン概要

■ OPEN YOKOHAMA にちなみ様々な場所を期間限定「公開」

歴史的建造物、横浜で活動するアーティストのスタジオ等の一般公開や、ストリートを開放してのミュージックフェスティバルなど、横浜の豊富な文化資源を「公開・解放」し、来訪者と街の親近感を高めます。

■ イベントと街をつなぐ 街散策の多彩なツアーを開催

NPO、アーティスト、ボランティア団体、イベント主催者などが、横浜の街や建造物のデザインを詳しく知るガイドとともに、イベントを立体的に知る、楽しむための各種ツアーを企画・開催します。

例) ヨコハマ劇的空間ツアー/関内外 OPEN!2 関連ツアー、横濱ジャズクラブツアー、横浜ローカルツアー、まち歩きツアー

■ 期間中に対象地域で実施されるイベント情報を一体的に提供

創造界隈拠点、文化施設、街中空間などで開催される 100 を超えるイベント等の情報を網羅します。これらの情報は特設ウェブサイト(<http://www.invitation-yokohama.jp>)や各地で配布する無料ガイドマップで提供するとともに、期間中に 2 か所の案内デスクを配置し、来訪者のサポートにつとめます。

<期間中の開催イベント一例>

黄金町バザール 2010 : 9/10 (金) -10/11 (月・祝)

横濱 JAZZ PROMENADE 2010 : 10/9 (土) -10/10 (日)

関内外 OPEN!2 : 9/10 (金) -9/12 (日)

ホッチポッチミュージックフェスティバル : 9/25 (土) -9/26 (日)

横浜市立野毛山動物園×急な坂スタジオ Zoo Zoo Scene ずうずうしいですが、なにか? (仮) : 9/25 (土) -9/26 (日) など

観光入込客数 8 年連続増加、クリエイティブシティ・ヨコハマの魅力

横浜市は、平成 21 年の観光入込客数が過去最多の約 5,428 万人を記録するなど、国内でも高い集客力を持つ観光都市であり、平成 13 年以降の 8 年間にわたって観光入込客数が増加し続けていることから、都市の魅力と価値を高める様々な取組みが、着実に実を結んでいることが見てとれます。

その要因のひとつに、歴史を活かしたまちづくりと、さまざまな芸術や文化を育くむ風土が挙げられます。横浜は終戦翌年の昭和 21 年に第 1 回芸術の公募展「ハマ展」が市民の手で開催されるなど市民の文化・芸術への意識も高く、1971 年には横浜市役所に都市デザイン室が設置され、行政も一丸となり文化を大切にしまちづくりが進められてきました。2004 年、『文化創造都市—クリエイティブシティ・ヨコハマ』の形成に向けた提言がなされ、歴史的建造物を文化芸術という視点から活用する事業「BankART」がスタートします。合わせて、周辺にアーティストやクリエイターが創作・発表・滞在する【創造界隈】の形成も始まり、より街を活性化することに成功しました。今回の INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 2010 は、市内でイベントがもっとも多く同時開催される秋時期に合わせ、クリエイティブシティ・ヨコハマが大切に培ってきた魅力をあますところなく伝えるキャンペーンです。

INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 2010 -くわしくはヨコハマの街で-

- ◆実施期間：2010年9月10日（金）～11月3日（水・祝）
- ◆対象エリア：関内・関外地区を中心とした横浜駅～元町・中華街駅周辺、日の出町・黄金町周辺
- ◆読者問い合わせ先（クレジット記載）：ヨコハマ創造都市センター TEL 045-221-0325
- ◆URL：<http://www.invitation-yokohama.jp>（8月27日より公開予定）
- ◆twitter 公式アカウント: invite_YKHM
- ◆案内デスク設置場所（予定）：
-象の鼻テラス
〒231-0002 横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602 みなとみらい線「日本大通り駅」
-ヨコハマ創造都市センター
〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 TEL 045-221-0325 みなとみらい線「馬車道駅」

主催：OPEN YOKOHAMA 実行委員会

事務局：横浜市芸術文化振興財団（ヨコハマ創造都市センター） TEL 045-221-0325

以上

▼本件に関する掲載・取材に関するお問い合わせ先▼

INVITATION TO OPEN YOKOHAMA 広報チーム

PR担当：茂市玲子（もいちりょうこ）

メール：press@invitation-yokohama.jp

TEL 045-221-0325 FAX 045-221-0215（ヨコハマ創造都市センター内）

茂市 直通 TEL 090-6005-7260